

2025
vol.66
10

HAREBARE

晴ればれ

特集／
LINEでもっとお得に!

生産部会紹介／
井原市ぶどう部会

広報1年生が行く／
女性部 岡山西地区の
倉敷太まきずしづくり

直売所だより／
きらめきの里

宝石のような ブドウを作りたい



©よい食P

東京で美容会社を長年経営していた峯ゆりあさん。「人生の後半は故郷に帰り、自然の中で暮らしたい、故郷と両親に恩返しをしたい」という気持ちが芽生え、出身地の津山市に隣接する美咲町の地域おこし協力隊を経てブドウ農家に転身しました。

ブドウとの出会い

協力隊で地域の特産や産業を見て回った際に同町がブドウの産地だと知り、訪れた畑で鈴なりの実に一目惚れ。「ブドウ農家になりたい」と一念発起しました。「素晴らしいブドウを作る農家がたくさんいて、ブドウは畑の宝石と教わった」と話します。

2020年から町の農業塾や県の施設で研修を受け、2022年12月に「白ゆり葡萄園」を開園しました。現在30[㍎]で「ピオーネ」「シャインマスカット」「オーロラブラック」など31本を栽培。いよいよこの秋に初出荷を迎えました。

「ブドウの木もファミリーと同じ」と、全ての木に名前を付けています。自身も4月に入籍したばかり。夫の信二さんからプロポーズを受けた場所にちなんだ

若手生産者を紹介

中央ぶどう部会
みね
峯ゆりあさん(52)



宝石のような ブドウを作りたい

愛犬「リリー」・夫の信二さんとともにブドウを育てる

「出雲」、風が通る場所に植えた「ナウシカ」など、1本1本に愛情をたっぷり注ぎます。

たくさんの方の協力なくして
ブドウは作れない

信二さんはスプリンクラーの設置や土づくりなど、環境整備をバックアップ。地域の人も、ブドウ栽培の師匠を紹介してくれたり、棚づくりの土木工事の手助けをしてくれました。今年の渇水の際には、ため池の水をたっぷり利用させてもらうなど、惜しまず手を差し伸べてくれました。師匠からは農業を基礎から教わるなど、就農から今日まで、たくさんの人にお世話になったといえます。

「最初に一目惚れしたあの宝石のようなブドウを作りたい。やっとスタート地点に立ち、農家の凄さがわかった。食べた人が笑顔になるようなおいしいブドウを作ること地域に恩返ししたい。農業の楽しさを発信して地域の活性化につなげていきたい」と前を向きます。

このページのお問い合わせは津山南部アグリセンター(0868-66-3500)まで



LINEでもっとお得に!

組合員証・年金受給者証※がスタートします

JAの公式LINEで10月1日からデジタル会員証の運用をスタートします。JAの組合員を対象とした「組合員証」(正組合員証・准組合員証)と、JA口座で年金をお受け取りいただいている方を対象とした「年金受給者証※」の2種類をLINEの画面内に表示します。対象店舗でのコード読込や提示

によって特典サービスを受けることができます。

先行の「LINEメンバーズカード」では、直売所への来店などでポイントを付与するサービスを順次拡大中です。今月は、JAの事業を利用すればするほどお得になる、LINEの耳より情報をお届けします。※名称は仮です

まずはLINEを登録しよう /



まだLINEをご利用されていない方

下記コードを読み込んでLINEアプリを入手してください



iPhoneの方



Androidの方

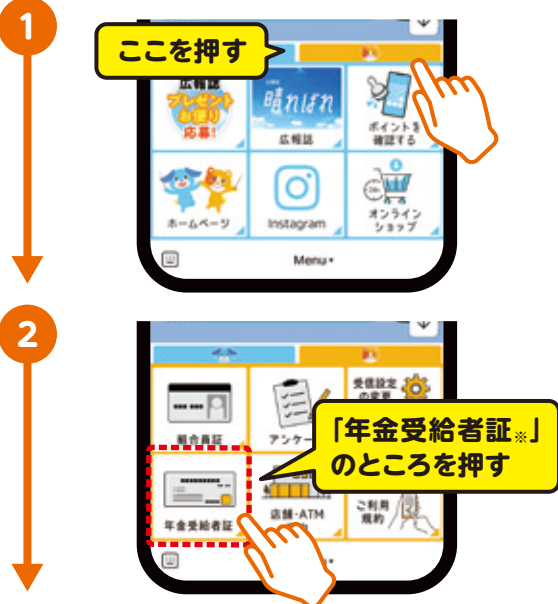
ご不明の点がありましたらお近くの支店・事業所、または総務部企画課(086-476-1830)にご相談ください

年金受給者証※

加盟店で会員証を提示すると割引などの特典を受けることができます。

ご利用方法

LINE画面下の「リッチメニュー」から



※名称は仮です



加盟店舗は
こちらをご確認
ください▶



スマホ画面に表示された「年金受給者証※」を飲食店や入浴施設といった店舗で、店員へ提示することで割引などの特典を受けることができます。

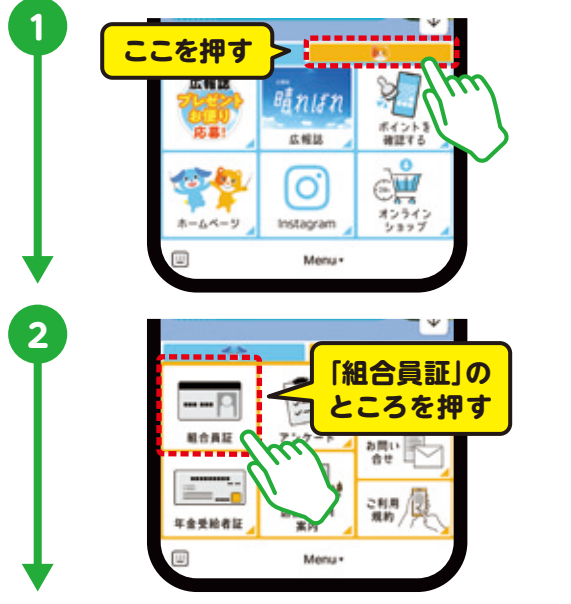
組合員証

特典
第1弾!

毎週水曜日、
JAのガソリンスタンドでの給油を
1リットル5円引きします。

ご利用方法

LINE画面下の「リッチメニュー」から



※一部対象外店舗があります
※一部店舗ではバーコード
を店員に提示ください



詳しくは
こちら▼



今後も特典は増えていく予定です!

10-11月は 国消国産 月間!

JA晴れの国岡山の直売所各店舗では、「LINEメンバーズカード」のポイントを付与中です。さらに10月、11月はスタンプラリーキャンペーンも実施します。この秋はぜひお近くの直売所に足を運んでみてください。

詳しくは
こちら!



JAを利用すればするほどポイントが貯まる

LINE メンバーズカード



もれなく

30ポイント貯まったらJA晴れの国岡山のオンラインショップで



「特産品」が
お得に買える

クーポン進呈!



ポイント獲得方法



Instagramを閲覧する

獲得ポイント数 **1ポイント**

※1日1ポイント

獲得方法

LINEの「リッチメニュー」から
獲得する

1 **ここを押す**



2 **「Instagram」の
ところを押す**

直売所へ行く

ご来店1回につき
獲得ポイント数 **1ポイント**

※1日1ポイント

獲得方法

直売所レジ付近に設置してある
三角ポップのコードを読み込む



広報誌を読む

獲得ポイント数 **1ポイント**

※1ヵ月1ポイント(毎月20日基準)

獲得方法1



広報誌「晴ればれ」
16ページに掲載の
コードを読みこん
で獲得する

獲得方法2

LINEの「リッチメニュー」から
獲得する

1 **ここを押す**



2 **「晴ればれ」の
ところを押す**

その他ポイントを獲得するには…



ローン・農業融資を利用する

準備中



給与・年金を受け取る

準備中



農畜産物を出荷する

準備中



組合員になる



アンケートに答える

など

LINEの「リッチメニュー」の「ポイント
を確認する」をタップすると、現在の
獲得数を確認できます



ポイントの
獲得条件は、
今後拡大させていく
予定です!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください。



部会を担う期待の若手たち

3支部が団結して産地拡大を目指す

栽培スケジュール

露地ピオーネ栽培

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
せん定・土づくり			芽かぎ 花穂整形 など		ホルモン 処理 摘粒など	袋掛け				収穫	

部会の特徴

温暖な気候と肥沃な土地に恵まれた井原産ブドウは市場から高い評価を得ており、収益性にも優れています。担い手育成や基盤整備に取り組み、意欲的に地域の活性化を図っています。

青野町を中心とした井原支部・芳井支部・美星支部の3地区で構成し、岡山県内でも栽培面積は上位となっています。品種は「ピオーネ」が全体の6割を占め、ほかに「シャインマスカット」「紫苑」「オーロラブラック」などを栽培しています。標高差をいかした栽培時期の違いと品種、作型の組み合わせによる長期出荷が特長で、7月上旬から始まるハウスブドウを皮切りに11月下旬まで続きます。特に11月の立冬以降に出荷する秀品の「シャインマスカット」と「紫苑」を「井原冬ブドウ」と名付けブランド化を進めています。

部会・産地のこだわり

担い手対策に力を入れ、地元だけではなく県外からの新規就農者も積極的に受け入れ

部会長にインタビュー にしだ みちひさ 西田 倫久 部会長



生産部会 紹介

井原市ぶどう部会 (岡山西地域)

概要

地域	井原市
部会員	193人
栽培面積	72ha
出荷時期	(ハウス7月上旬～) 8月下旬～11月下旬まで
出荷先	岡山・大阪・四国・九州
目標出荷量	500t
目標販売金額	8億円

ています。

栽培技術を習得するための「井原ぶどう塾」や、日帰りで農家と交流し、農作業の見学・粒間引き・袋掛け・収穫などの作業が体験できる「短期体験研修」を開いています。

1998年から県の研修制度を活用して新たな担い手を育成し、これまでに23人が就農しています。

ブドウ栽培に意欲があり、部会員として産地をとともに盛り上げてくれる方がすぐ実践できる環境を整えています。

今後の目標は

引き続き農家とJAと行政が力を合わせて担い手育成に力を注ぎ、農家1人1人の生産規模の拡大を目指します。次世代農家・新規就農者へうまく世代交代し、先人たちが開墾した産地を維持し続けたいです。ぜひ井原のブドウをご賞味ください。

稲ワラを土づくりに活用

野焼きは、灰の飛散や大気汚染物質であるPM2.5の濃度上昇の原因となるなど、環境に影響を及ぼすとして法律により原則禁止されています。農業を営むためにやむを得な

い稲ワラや刈草などの焼却は除外されていますが、周辺の生活環境に配慮する必要があります。稲ワラは水田にすき込み、有機質資源として土づくりに活用することで、環境にやさしい農業につながります。

「わらゴールド」や「豊土サングリーン」といった稲ワラの腐熟を促進

させる資材の施用も有効です。ガスの発生や根腐れを防ぎ、稲の養分を吸収しやすくなります。



わらゴールド
10kgあたり30〜60㎡(2〜4袋)を施用



豊土サングリーン
10kgあたり5㎡(1袋)を施用

明日も笑顔で迎えるために 学ぼう!正しい安全知識



令和7年産米の出荷にご協力ください

概算金コシヒカリ1等3万円

令和7年産米の概算金(早生品種)を決定しました。主力のコシヒカリは1等60kg当たり3万円。前年当初と比べて9900円上げました。昨今の資材価格高騰による農業経営の圧迫が続くなか、出荷奨励対策(大口出荷奨励・ミニライス出荷奨励を実施することで集荷量の増加を図り、早期全量販売契約の締結および消費拡大に取り組み、農家所得の最大化に努めます。1袋でも多くのJA出荷にご協力をお願いします。JAとの出荷契約がまだの組合員の方は、各地区のアグリセンター・営農経済店舗までご相談ください。なお、概算金とはJAが集荷の時に生産者に支払う一時払い金であり、消費者への小売価格とは異なります。この他の銘柄や等級の金額については、各地区のアグリセンター・営農経済店舗までお問い合わせください。



和牛子牛セリ市況

(JA全農おかやま総合家畜市場)

成績

性別	頭数	最高価格(税込)	平均価格(税込)	平均体重
雌	111	727,100円	567,413円	290kg
去勢	184	880,000円	658,936円	319kg
総合	295	880,000円	624,422円	308kg

※前月より30頭上回る295頭が売買されました。雌、去勢ともに前月より下がり、総合平均価格は前月より5,398円安い624,422円での取引となりました。

直売所出荷者募集 旬感広場「晴れのち晴れ」

旬感広場「晴れのち晴れ」の出荷会員を募集しています。詳しくは下記コードをご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

0866-93-2338(9時〜16時)



8つの地区を毎月リレーでつなぎます



非常時に役立つ

心肺蘇生法を学ぶ

岡山東地区 和気支部



▲AEDの使い方を学ぶ部員

8月上旬、防災への意識を高めようと救命救急講習会を開き、部員19人がAEDの使用手順や心肺蘇生の方法を学びました。講師の東備消防組合の職員から、心臓マッサージは「強く・速く・絶え間なく」が基本と学び、童謡「うさぎとかめ」といった歌のリズムに合わせて、人形

を用いてマッサージを実践しました。「途中でマッサージを止めると、それまでの処置が無駄になる」とも聞き、救急車の到着まで休みなく継続できるように、交代でマッサージを行う方法にも挑戦しました。

AEDの使用手順も学び、小さな子どもやペースメーカー装着者などへの対応について質問するなど知識を深めました。

部員は「心肺蘇生には想像以上の力が必要だと実感した。いざという時に今日の学びをいかせるよう心がけたい」と話しました。

支部では3カ年計画の重点テーマに基づき、防災対策を万全にし、必要な行動を日ごろから学び備えようと活動。9月末には、防災食をテーマにした料理教室を開き、非常時に役立つ知識をみんなで学んでいます。

岡山西地区

吉備路ブロック 清音支部



▲おいしくて、おかわりしました

夏野菜でカレーづくり

家の光料理教室



▲ケガしないよう見守りながら調理

地産地消や食農教育の推進を目的に、JAGグループの子ども向け雑誌「ちやぐりん」の料理記事を活用した「JA家の光料理教室」を毎年開いています。

今回は初めて総社市の清音放課後児童クラブと行いました。児童と保護者ら20人が参加。女性部員の指導で、地元産ズッキーニやオクラなど旬の夏野菜をたっぷり使ったカレーづくりに挑戦しました。

野菜を切って炒めるなど、役割分担しながら調理。「コロコロ夏野菜カレー」「くるくる野菜のブーケサラダ」「フルーツのオープンサンド」の3品を完成させました。

参加した児童は、「ピーラーで野菜を薄く切って丸める作業は難しかったけど楽しかった。また参加したい」と元気いっぱい笑顔を見せました。おかわりをする児童もいて、手作りならではの味を堪能しました。

あなたも女性部に入って活動に参加してみませんか 詳しくは

このページに関するお問い合わせは経済部(086-476-1838)まで



岡山地区 倉敷東ブロック 倉敷太まきずしづくり

みんな笑顔で、楽しく活動しよう



▲小さなお子さん連れでも大歓迎。みんなでワイワイ、おいしい太まきずしができました



▲具材をのせて巻くのに悪戦苦闘しました

この日は、郷土料理の「バラ寿司」をアレンジした「倉敷太まきずし」を作り
ました。若い世代の参加者が多く、活動前から楽しい雰囲気でした。
参加者は「初めて作ったので難しかった。穴子の臭み抜きなどを教えてもらい勉強になった」と振り返りました。小川初美部長は「みんなで楽しみながらやっていこう」をモットーに活動している。倉敷の郷土料理を若い世代へとつなげたい」と笑顔で話します。
部員同士のつながりが強く、和気あいあいと活動をされています。活動は、若い方も大歓迎ですので、みなさんもぜひ参加してみてください。

岡山地区倉敷東ブロックでは、郷土料理の伝承や地元食材を使った加工品の販売、SNSでの情報発信に力を入れています。



【広報担当 さかもと 坂本】



女性部の活動を紹介
女性部の和やかな
雰囲気が感じられますよ!



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の地域貢献活動

Vol.5

きらめきの里

直売所だより

地区の特産を

たくさんの人に届けたい

9月下旬からの出荷に向け、順調に生育が進む「新高」(8月下旬撮影)

今月の出荷者

かたやま たけまさ
片山 武政さん
(真庭市多田)



真庭市中島422-1
営業時間: 9:00~18:00
定休日: 9月末・3月末・年末年始
☎0867-42-8177

約30年前、JAの職員時代に梨の栽培を始めた。現在、地区の特産「新高」をはじめ、「あたご」八達^{はたち}など5種類と、ブドウ「ピオーネ」「シャインマスカット」を栽培し、秋の味覚を届けています。

とにかく基本に忠実に、適期作業で、品質アップに努め、店頭でも手に取ってもらえることが多くなりました。おいしいものを作れば売れる一方、悪いものを作れないブレッシヤーもあります。自分と家族で味を確認して、満足いくものを店頭に出すようにしています。今年息子が就農しました。技術を教えながら、二人三脚でおいしい果物づくりに取り組みたいと思います。

「きらめきの里」のオープン当初から、出荷者協議会の役員として携わってきました。来店者数を増やすため、季節のイベントを企画し、役員が総出でPRしてきました。今では地域の店として定着し、季節の味を求めて来店する消費者と、顔の見える交流が続いています。

私のこれがオススメ!



なかしま りゅうじ
中島 隆二 店長

北は蒜山から南は落合地域まで、南北に広い真庭市の農産物が並びます。梨やブドウは直売所ならではの珍しい品種も店頭をにぎわせます。

季節になると「ひるぜん大根」やヤマノイモ「銀沫^{ぎんぼく}」など、真庭を代表する特産にも巡りあえます!



イベントに合わせて販売される出荷者協議会特製の焼きそば



花の産地でもある真庭地区。小菊、ソリダゴなどの新鮮な花が並びます

8 働きがいも
経済成長も



100年続くブドウ産地へ 岡山で全国研究大会



船穂地区での現地視察。生産者が活発に意見を交わした

7月下旬、岡山市で第56回全国ブドウ研究大会が開かれ、全国の生産者ら約400人が参加。大会のテーマは「伝統と革新」100年後も続くブドウ産地で、先人の培った栽培技術を継承し、さらなる創意工夫で産地を発展させることを目指します。国内各地の事例発表などで互いの情報を共有しました。

現地視察では倉敷市船穂地区の園

地を見学し、生産者や職員が栽培管理などを説明しました。今年では県内でモモ・ブドウの栽培が始まって150年の記念の年。大会実行委員会の岡本彰夫会長は「150年の節目にあたり、この地で大会が行われるとは意義深い。岡山の旬の味覚を味わい、活発な意見を交わし産地間の交流を深めてほしい」と呼びかけました。

課題共有し新たな飛躍へ 中四国の女性リーダー集結



JA女性組織綱領を唱和する部員

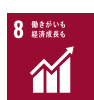
当JA女性部は7月下旬、中四国地区JA女性組織リーダー研修会に参加しました。中四国地区から女性部員約250人が岡山市に集まり、JA女性組織を取り巻く環境や課題を共有。今年では3カ年計画の実践初年度にあたり、「『あい♡』から始まる『元気な地域』をみんなの力で」をテーマに、他県の部員と交流しながら取り組みの意義を学びました。

新見地区の武田陽子さんが「合言葉は『伝承』——先輩から、家族から、地域から」と題して活動体験を発表。「伝承料理教室の開催などを通じて絆が深まった。次世代につなげる活動を楽しみながら取り組みたい」と想いを伝えました。



旬感広場に並んだ入賞作品。来店者には県産の花をプレゼントした

8月下旬、岡山県花き共進会が開かれ、最優秀賞の農林水産大臣賞に新見市の黒笹明さんのリンドウ、県知事賞に同市の奥山亮さんのリンドウが輝きました。リンドウ・キク・エニシダなど141点の出品があり、当JAの生産者15人が入賞しました。審査後には総社市の旬感広場で入賞作品を展示し、訪れる人の目を楽しませました。来店者は「色とりどりきれい。さまざまな花を手にとってみたい」と笑顔で話しました。



黒笹さん（新見）大臣賞
県花き共進会にリンドウなど



農業の魅力伝える 旬感広場で食農教育

農業や県内特産の農畜産物に対する理解を醸成するため、食農教育に取り組んでいます。8月下旬には、親子連れや若い世代に向け、旬感広場で桃太郎トマトやモモ・ブドウを使った料理教室を開きました。ピザづくりやフルーツカットに挑戦した参加者は、「栽培方法や栄養成分などを多角的に学べるのはJAならではの魅力」と喜びました。

JA職員は「農業の魅力を伝える機会を作り、将来を見据えた活動を進めたい」と展望します。



「桃太郎トマト」を使ってピザを作る親子



特産ブドウを地元が応援 真庭に来てみて!

まにわぶどう部会は、管内の飲食店や物販店と協力し、地域おこしの企画「まにわぶどうのお福分け」をスタートしました。



真庭高校のカフェが提供するパフェ



日本の宝、和牛を守り育てる 組合員間で意識共有

津山地域和牛改良組合は7月下旬、津山市で総会を開きました。昼食には地域のブランド牛「つやま和牛」を使った焼肉弁当を提供。「つやま和牛」が当たる抽選会も行い、親睦と消費拡大を図りました。今年4月からは地域の民間種雄牛の交配を促進する独自事業を展開しており、地域の和牛振興につながります。



「つやま和牛」の弁当を食べる参加者



地元で認知を広げる 矢掛町産イタリア野菜

矢掛アグリセンターは7月下旬、地元産のイタリア野菜を使った料理教室を開きました。地域の飲食店・給食センター職員・JA女性部員など約20人が参加しました。イタリア家庭料理研究家の山仲律子さんを講師に、「ボンジョールトマト」「サン・マルツァーノ」のトマトソースやそれを使ったイタリアの家庭料理を習いました。山中さんは、「地域の人が家庭料理として使うことで地域食として広がり、矢掛町産イタリア野菜の価値をあげていくことができる」と説明。参加した女性部員は「気軽に使えることを知った。まずはトマトソースを作りたい」と笑顔をみせました。



山中さん(右)からイタリア野菜の魅力を学ぶ参加者



大玉で色鮮やか イチジク「榎井ドーフィン」



イチジクをPRする野田勲組合長(右)

倉敷市玉島勇崎地区でイチジクの出荷が順調に進んでいます。品種は程よい甘みとさっぱりとした風味が特長の西洋イチジク「榎井ドーフィン」。今季は雨が少ないため傷みも少なく、好天により濃赤色で大ぶりに仕上がっています。

東元浜無花果出荷組合では8人が90畝で栽培。組合員が出荷作業を担い、少数精鋭で協力して取り組んでいます。主に津山市の市場に10月初旬まで出荷します。同組合の野田勲組合長は「甘くておいしいイチジクを味わってほしい」とPRします。



赤磐支店が新築オープン 安心し利用できる拠点に

8月25日、赤磐市の山陽・赤坂支店を統合して「赤磐支店」、瀬戸・山陽・赤坂・熊山・赤磐吉井の5支店の営農部門などを集約して同建物に「赤磐アグリセンター」、農業資材店「晴ればれ赤磐店」が

緑の中でのびのび 中国山地の和牛放牧

(新見市神郷高瀬)

農
の
あ
る
風
景

動画も
公開中!



緑がまぶしい長久牧場の放牧(8月14日撮影)

JAの長久牧場で和牛放牧の牧歌的な風景が広がります。山並みの緑が涼やかさを感じさせる環境の中、雌牛は青草を食んだり、木陰で体を休めたりしています。日差しを浴びながら自由に運動できる環境がストレスを軽減し、良質な子牛を安定生産します。

鳥取県と広島県の境に近い標高約600mの中国山地の麓。ゲレンデ跡地の斜面や牛舎周りに約9haの牧草地

が整います。準高冷地の気候が和牛飼育に適し、50頭の繁殖牛を飼育。ブランド「千屋牛®」の素牛となる子牛の生産を担っています。

今年は異常な暑さが続き、「牛は暑さに弱いので息遣いや餌の食い込みなど日々の観察に気が抜けない」と担当者話します。

来店者にPRするびほく
トマト部会の生産者(左)



特産「桃太郎トマト」の新たな需要を開拓し、消費拡大に取り組んでいます。地元企業の協力を得ながら、ドレッシング・ソース・サンドイツなどさま

8 農家がいても
経済成長も
「桃太郎トマト」PR
新たな需要を開拓



完成した赤磐支店

オープン記念の花を来店者へ手渡す金光章副組合長(左)

新築オープンしました。アグリセンターは、農家の相談にこたえられるよう営農指導員を配置。資材店は農家のニーズに沿い、平日だけでなく土日祝日も営業しています。オープン当日は来店者に花の苗や粗品をプレゼントしたほか、農業資材が当たる抽選会を開催。多くの人が訪れました。内藤敏男組合長は、「持続可能な事業運営で、組合員が安心して利用できる地域の拠点となるよう努める」と話します。

チラシを地域や園地に掲示して啓発



勝央町ぶどう部会は8月下旬、ブドウの盗難防止に向け、情報を共有しました。農作物の盗難が社会問題となる中、部会でも毎年被害が発生しています。美作警察署に協力を要請し、園地や地域のパトロールを強化。防犯カメラの設置に加え、農産物盗難を抑止するチラシを掲示し、地域を挙げて犯罪の抑制につなげます。

11 日本銀行から
まちづくりを
盗難からブドウを守れ!
部会を挙げて防犯対策

さまざまな商品も開発してきました。県内トップ産地のびほく地区では、8月下旬、県内スーパーで生産者とJA職員が店頭に立ち、試食を提供するなど、なめらかでみずみずしく育ったトマトをPR。レシピも一緒に紹介し、来店者から好評でした。びほくトマト部会の藤井包温部会長は「従来のトマトより舌触りがいいので、ぜひみなさんに味わってほしい」と語りました。

ニンニク

監修



新見基幹
アグリセンター
おのうえ かずお
尾上 和男



種まき：9月中旬～10月上旬（寒冷地）
9月下旬～10月中旬（温暖地）
収穫期：5～6月

ニンニクは中央アジア原産と推定されるヒガンバナ科の多年生草本で、暑さに弱く、寒さには比較的強い野菜です。栽培は秋に種球を植え付け、初夏に収穫します。強い香りの成分は硫化アリルで、体内で豊富に含むビタミンB1と結合すると疲労回復効果があります。

1. 畑の準備

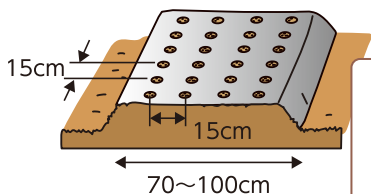
植え付け2週間前までに

1㎡あたり 苦土石灰 200g

1週間前に

1㎡あたり ①「野菜の肥料」 100g
完熟堆肥 2kg

図1 畑の準備



畝を作り、穴の間隔が15cmの黒色ポリフィルムマルチを張ります

2. 植え付け

9月上旬ごろに休眠が明けてくるので、種球を小片（鱗片）にばらして植え付けます。

図2 種球の準備



小片頂部を上に乗える

図3 植え付け

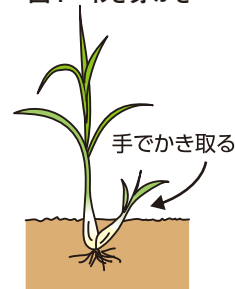


小片の上に5cmの土がくぶさる深さまで挿し込む

3. わき芽かき

芽出し後に1株から2芽以上出たときは生育のよい1芽を残し、手で早めにかき取ります。

図4 わき芽かき



4. 追肥・花蕾摘み

成長が再開する翌春2月と3月
1㎡あたり ②化成肥料14-14-14 50g程度

マルチ栽培では所々穴を開けておきます。とう立ちしてつぼみが付いたら球の肥大に影響があるため花蕾を早めに摘み取ります。畑の乾燥に弱いため、特に春先からのかん水が必要です。

5. 収穫

初夏になり葉が半分くらい枯れたら晴天日に抜き取って根を切り落とし畑で2～3日乾かします。

図5 収穫

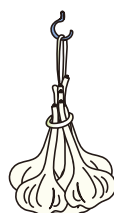


図6 貯蔵

その後茎を30cmほど残して切り取り10球程度を束ねて風通しの良い軒先などにつるします。

バックナンバーは
こちら！



①JA 晴れの国岡山 オリジナル野菜の肥料

窒素・リン酸・カリに加え、微量元素をバランスよく配合し、野菜の元肥・追肥に幅広く使えます。



②化成肥料14-14-14

野菜・果樹・花など幅広く使えます。高成分なので少量投入で経済的です。



ゴボウ



見分け方

持ったときにハリと弾力があり、太さがある程度均一で先端が緩やかに細くなっているものがよいです。

主な栄養成分

腸の働きを整える水溶性食物繊維イヌリンや、抗酸化作用のあるクロロゲン酸を含みます。

ゴボウを使って1品 /

ゴボウをつかった秋らしいチヂミ

材料／1人分

ゴボウ	1 / 2 本
シメジ	50 g
ニンジン	1 / 4 本
卵	1 個
小麦粉	70 g
片栗粉	30 g
塩	少々
水	100 ml
ゴマ油	大さじ 1 / 2

<たれ>

砂糖・酢・しょうゆ	各 大さじ 1 / 2
A 練りごま	適量

つくりかた

●たれのつくりかた

- ① Aをまぜる。

●チヂミのつくりかた

- ① ゴボウは皮をこそげとり、ささがきにする。シメジは石づきを取ってほぐす。ニンジンは千切りにする。
- ② ボウルに卵を溶き、小麦粉・片栗粉・塩・水を入れて混ぜる。
- ③ ②に①を入れ混ぜる。
- ④ 熱したフライパンにゴマ油を入れ、③をお好みの大きさに流し入れ中火で約3分焼く。
- ⑤ 片面が焼けたらひっくり返してさらに焼き色がつくまで焼く。

調理時間

20分

※1人分あたり

エネルギー

586kcal

塩分

1.7g

野菜摂取量

約120g(1日の目標野菜摂取量の約3分の1)

※シメジを除く

食物繊維が豊富なゴボウをたっぷり使っています。便秘改善につながります。シャキシャキな食感と香ばしさが楽しめる、秋らしい一品です。



くらしき作陽大学 食文化学部栄養学科 仙田ゼミ 考案



理事会だより 任期満了に伴う総代選挙の実施ほか

令和7年度8月期理事会を8月29日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

【附議事項】第1号議案：人事労務関連規程の一部変更／第2号議案：任期満了に伴う総代選挙の実施（10月28日に掲示し、正組合員宛てに通知を発送）／第3号議案：令和5年度産米穀最終精算（表）／第4号議案：令和7年度産米の集荷販売方針および米麦概算金、経費目標額の設定（コシヒカリ1等3万円ほか、関連記事は本誌7頁）／第5号議案：出資口数の減口（組合員の申し出による）

【報告事項】令和7年度7月末事業実績／総代会・事前説明会出席集計／総代会・事前説明会の主な質問・意見と回答および対応／リスク管理委員会報告（令和7年度コンプライアンス・プログラムに基づくクロスチェックの実施・体制モニタリング2024事業年度末基準結果報告・自主自店検査結果令和7年度第1四半期の報告・不祥事再発防止策にかかる7月の取り組み）／農林中央金庫2025年度第1四半期決算概況／その他（①理事に対する貸付の実行報告②計量法改正による計量機更新価格交渉結果③旬感広場駐車場の入札結果）

電気代を見直しませんか JAでんき

「JAでんき」は、組合員のみならず、日々利用されている電気の料金を安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。安定した電力供給で安心してご利用できます。担当者が直接訪問し手続きするので、切り替えも簡単。まずは料金シミュレーションでだけお得になるのか、左記コードよりご確認ください。

詳しい内容やお申し込みはお近くのJA購買店舗までお問い合わせください。



年末調整事務の簡便化について 税務署からのお知らせ

雇用主のみならず

国税庁では、年末調整の電子化を進めています。控除証明書の電子データの取込から控除申告書のデータ作成に対応した「年調ソフト」を開

発し、各アプリストアや国税庁ホームページで公開しています。

これまで書面だった手続きを電子化することで、保険料控除などの控除額の検算が不要、控除証明書などのチェック事務と書類保管コストが削減できるといったメリットがあります。詳細については、国税庁ホームページの「年末調整手続の電子化に向けた取組について」をご覧ください。



「ピオーネ」が当たる！ キャンペーン実施中



岡山ブドウ栽培150周年を記念し、「ピオーネへの愛を叫べ！キャンペーン」を10月5日（日）まで実施しています。「ピオーネ」の好きなどころを当JAのInstagramのコメントで投稿ください。抽選で20人に県産ピオーネをプレゼントします。詳しくは下記コードをご覧ください。



LINE メンバーズカード

ポイント
ゲットしよう！

広報誌を読む

獲得ポイント数 **1ポイント**

こちらのコードを読み込んで
ポイントゲット！⇒

2025年度 JAの巡回人間ドック（健診）のお知らせ（11月）

地域の方を対象にした健康診断を実施します。ご希望の方は3週間前までに各お問い合わせ先にお申し込みください。

実施月日	統括	会場	開始時間	お問い合わせ先	
11月	6日（木）	岡山東 赤磐吉井支店	8:30	赤磐アグリセンター	086-955-2077
	21日（金）	真庭 古見ふれあいの館	8:30	真庭基幹アグリセンター	0867-52-2910
	25日（火）	勝英 勝英統括本部	8:30	美作アグリセンター	0868-72-9031
	27日（木）	岡山東 旧赤坂支店	8:30	赤磐アグリセンター	086-955-2077
	28日（金）				





組合員さま限定



JA晴れの国岡山農業資材オンラインショップ

晴ればれeネット

2026年産水稻の肥料・農薬の予約注文を 10月1日(水)よりスタートします!

オンラインショップの「晴ればれeネット」ではみなさまのニーズに合わせて約120品目の
肥料農薬を掲載。注文商品は指定先へ配送するので労力軽減を図れます。

オンライン
ショップの
3大
メリット

メリット
1



ネットで楽々注文!

時間と場所を気にせずにいつでも
注文をすることができます。

メリット
2



予約価格から5%引き!

会員だけの予約特別価格で
提供を行います。
※掲載品目に限ります

メリット
3

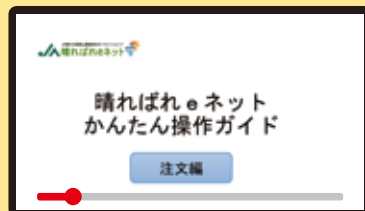
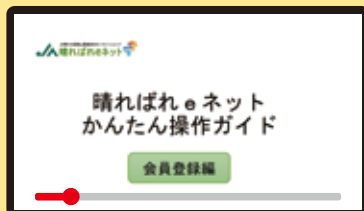


再購入も簡単!

お客様のオンラインショップ
購入履歴を検索できます。

もっと使いやすく!

簡単操作ガイド
(会員登録編・注文編)
を作成しました



JAホームページ・YouTubeで公開しています。ぜひご活用ください。

どうやって使うのかよくわからない…という方も安心!

JA職員が操作方法を
しっかりサポートいたします!

詳しくはお近くのJA購買店舗へ



お気軽に
ご相談
ください!

2025年度の スケジュール

- 2026年産水稻予約肥料農薬
- 受注期間
 - ①新見・真庭・津山・勝英:2025年10月1日~11月30日
 - ②岡山東・岡山西・倉敷かさや・びほく:2025年10月1日~12月23日
 - ※注文書回付時期(①:9月 ②:10月~11月)
- 配送:2025年12月~2026年3月27日まで ※配送日指定不可
- 代金決済日:2026年10月20日
 - ※配送にあたり、JA委託配送業者より事前連絡をします。
 - TEL:086-292-8201、086-292-8203
 - (配送員の携帯電話から連絡する場合もあります)

操作ガイド公開中 /

専用サイトは
こちらから



このページに関するお問い合わせはお近くのアグリセンターまたは経済部(086-476-1838)まで



みんなの

ひろば



MINNANO HIROBA

読者のみなさまから
お寄せいただいた
イラストやお便りなどを
ご紹介!!



ルナリアのドライフラワーと折り紙の
ホオズキです 美咲町・ムッチさん



井原市・橋本厚美さん



ネジリ花が咲いていました
真庭市・クロちゃん



草取りをしていると突然現
れ、飛んでいきました
美作市・西井ひろみさん

▼LINE登録をしました。
直売所で二次元コードをパ
シャリ! LINEメンバーズ
カードにポイントを貯めてい
ます。
備前市・フルベリさん(60代)

▼広報誌8月号のレシピ「ピー
マンと豆腐の揚げだし」が彩り
きれいで、両親にも食べさせ
たいです。
浅口市・ぼにみさん(50代)

▼農業が注目されて、とても
うれしいです。命と健康は食
から!
真庭市・はっちさん(60代)

▼猛暑の毎日、朝晩の水やり
が大変でした。育てた野菜が
食卓に並ぶと、暑さも苦労も
なんのその。家族の笑顔が一
番です。
鏡野町・くにちゃん(70代)

▼野菜づくりが大好きです。
広報誌9月号の家庭菜園でダ
イコンの作り方がわかりやす
くてよかったです。広報誌を
参考に作ってみました。
津山市・寺坂凌和さん(20代)

あぜみち川柳

猛暑を 乗り越え実った 我が稲穂
どらこんあいさん

猛暑でも 陰に入れぬ 畑の野菜
チヨコさん

草刈りは 毎週毎週 休み無し
8人のばあばさん

暑さにも 体力気力 負けないぞ
まりちゃん

暑い夏 熱く語った 未来のJA
グランパさん

猛暑 田んぼも人も 水分補給
まささん

夏の苗 植えては枯れる 悲しみよ
ネコさん

テーマ

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や
直売所の楽しみやエピソード、農の風景
など。

※作品は楷書で書いていただき、漢字に
はふりがなを、記入ください。

みなさまからの「写真イラスト」

「お便り」川柳を

大募集しています。

ご意見・ご感想もお待ちしております!!

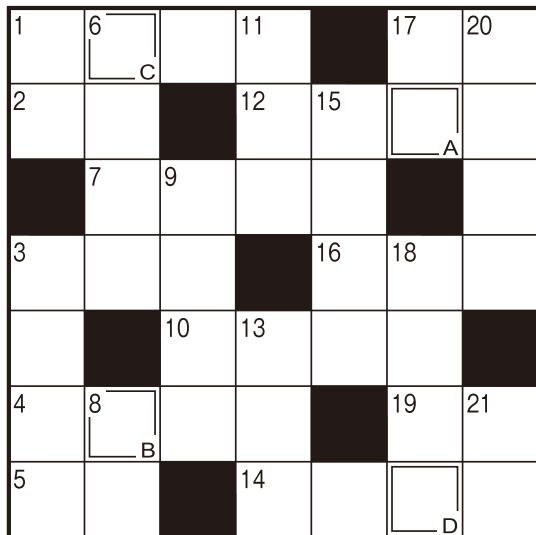


正解者の中から抽選で20人の方に直売所などで使える「農協全国商品券(2,000円分)」をプレゼント!!

二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか? (出題/ニコリ)

タテのカギ

- お代はいただきます
- 転職をしたいが、いざとなると——を踏んでしまう
- 金箔の生産量第1位の市がある都道府県
- 皿を数えるときに使う言葉
- あえるとパスタが黒くなります
- 落ち葉をかき集める道具
- ハロウィーンの日を楽しむ人もいます
- 役場で——証明を取ってきた
- 新割りに使う刃物
- 事件はあっけない——を迎えた
- 写生をこうもいいます
- 動物や鳥などの集団



ヨコのカギ

- 10月の第2月曜日はスポーツの日。以前は——の日でした
- 祭りのときに引く車
- 雨だよ、すぐに止むさ
- 塩分濃度は低め、麴の割合は高めな味噌
- ドングリがなる木の一種
- 彼女は免許——の腕前だ
- 悪臭を放つことで知られる動物
- 傘がたくさん重なった形の食用キノコ
- ハワイアンの演奏にも使われる弦楽器
- 玄関の上がり——に腰かけて話した
- 秋にもおいしい紫色の野菜
- 教育、勤労、納税は国民の三大——です

クロスワードパズル
先月号(9月号)の答え
「ラツカセイ」

応募総数
1,168件



応募締切

2025年10月15日(水)必着

お便りなど投稿・プレゼント応募方法

LINE・ハガキ・応募フォーム・FAXのいずれかに必要事項をご記入いただき、ご応募ください。

ハガキ

〒713-8113 倉敷市玉島八島 1510-1 JA晴れの国岡山 企画課 「晴ればれ」係	●郵便番号・住所 ●氏名 ●電話番号 ●年齢 ●パズルの答え ●よかったコーナー (複数回答可) ●ご意見・ご感想
--	--

LINE



応募フォーム

スマートフォン
から簡単応募▶▶▶

JA晴れの国岡山 晴ればれ応募

FAX

086-476-1840

※誌面の都合上、投稿いただいたすべてを掲載できない場合がございますがご了承ください。

※個人情報、投稿コーナーへの掲載や賞品発送、JA事業運営以外では使用いたしません。

※投稿写真は、人物など被写体に関する肖像権などに触れる可能性のないものに限り、また、可能な限り写真の説明をご記入ください。

※ペンネームをご希望の方は、ご自身のペンネームを必ず明記してください。

※投稿いただいた作品は返却いたしません。

※「みんなのひろば」の掲載がプレゼントの当選とは限りません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※掲載を希望されない場合はその旨を明記してください。

あとがき

いつも読んでいただきありがとうございます。暑い日が続く中、農家さんのお力になれるよう、広報担当も懸命に足を運んで情報発信しています。これからも地域密着で、地域に根ざした広報活動に努めたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。(平田)

本誌掲載の商品は総額表示で表記しています



とびきり フェイク!

子どもたちの「食と農」の体験を
笑顔とともに紹介します



真夏の
ゴーちそうとれたよ!

JA職員と一緒に植えたミニトマト「ペペ」の実がたくさんなりました(奈義小学校)

各SNSでも旬な情報を発信中!! //



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2025年は国際協同組合年です

晴ればれ

vol.66 2025年10月号

発行 晴れの国岡山農業協同組合 〒713-8113 倉敷市玉島八島1510番地1
編集 総務部(企画課) TEL.086-476-1830 <https://www.ja-hareoka.or.jp/>
発行日 2025年10月1日発行(毎月1日発行)

ホームページ
随時更新中!!



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。

